



2019年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月15日

上場会社名 株式会社マーケットエンタープライズ 上場取引所 東
 コード番号 3135 URL http://www.marketenterprise.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 泰士
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 今村 健一 (TEL) 03-5159-4060
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第3四半期の連結業績(2018年7月1日~2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	5,999	34.7	285	962.9	283	—	135	—
2018年6月期第3四半期	4,455	9.0	26	—	15	—	△4	—

(注) 包括利益 2019年6月期第3四半期 179百万円(—%) 2018年6月期第3四半期 5百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	26.57	25.82
2018年6月期第3四半期	△0.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第3四半期	2,435	1,156	44.4
2018年6月期	1,829	976	51.7

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 1,082百万円 2018年6月期 945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年6月期	—	0.00	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日~2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	31.1	385	299.0	387	307.4	180	463.5	35.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年6月期3Q	5,103,800株	2018年6月期	5,098,600株
2019年6月期3Q	220株	2018年6月期	220株
2019年6月期3Q	5,102,677株	2018年6月期3Q	5,084,926株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2018年7月1日～2019年3月31日）におけるわが国経済は、足元では政府の経済政策により、企業収益に併せて雇用環境や個人所得も緩やかな回復基調を示す一方で、米中貿易摩擦の激化や年初における米国株式市場の混乱等、今後の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

また、個人消費につきましては、従前より引き続き節約志向や低価格志向が基軸となりながらも、その動向は必ずしも節約・低価格の一辺倒なものではなく、個人の価値観や嗜好性に応じたメリハリのある消費スタイルが浸透しつつあり、その消費行動は多様化しております。

そのような社会環境の下、当社におきましてはネット型リユース事業（販売店舗を有しない、インターネットに特化したリユース品の買取及び販売）を基軸とし、多様化する消費行動に対して最適な選択肢を提供する「最適化商社」の実現に向けた事業を展開しております。

当社は、前2期間（2017年6月期、2018年6月期）をその実現に向けた中長期的な飛躍のための戦略的投資期間と位置付けておりましたが、当該投資が奏功し、当期においては期初より新たに生み出されたサービスが収益に貢献するに至りました。具体的には、前連結会計年度に新規開設した2拠点（西東京、札幌）による買取商圏の拡大に加え、農機具、医療機器といった専門性が高い商品への新規展開、また、オウンドメディアの収益化や通信領域（子会社である株式会社MEモバイルが展開）の伸長などが挙げられます。これらにつきましては、当第3四半期におきましても積極的なマーケティング活動、サービス内容のブラッシュアップ等を推進した結果、当期第2四半期連結累計期間に引き続き、大幅な成長を遂げました。

既存サービスにつきましては、転居等に伴う商品の買い替えや新規購入等のニーズが高まる当第3四半期の事業環境を背景に、順調な拡大を実現いたしました。拡大の一方、査定業務のオートメーション化をはじめ、買取に至るプロセスの更なるIT化を推進したことに合わせ、オペレーションの標準化を推進した結果、効率化が図られたことにより、利益水準も併せて向上いたしました。

なお、2019年2月に吸収分割により承継した「おいくら」事業（消費者と全国のリユースショップをマッチングするメディアとして不用品の買取価格を一括比較できる日本最大級のサイト運営に関する事業）につきましては、将来的な収益獲得に向けて、既存サービスとのシナジーを生み出すべく様々な投資を継続しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,999,935千円（前年同期比：34.7%増）、営業利益は285,634千円（前年同期は26,872千円の利益）、経常利益は283,736千円（前年同期は15,880千円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は135,581千円（前年同期は4,697千円の損失）となり、事業承継をはじめとした将来的な収益獲得に向けた投資を行いながらも、利益面において大幅に伸長いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産については、前連結会計年度末に比べて606,084千円増加し、2,435,170千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加204,427千円や売掛金の増加202,844千円、及び商品の増加74,119千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債については、前連結会計年度末に比べて425,845千円増加し、1,278,223千円となりました。これは主に、仕入高の増加に伴う買掛金の増加113,808千円や長期借入金の増加157,618千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産については、前連結会計年度末に比べて180,239千円増加し、1,156,947千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上135,581千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「(1) 経営成績に関する説明」に記載のとおり、当第3四半期連結累計期間におきまして、新規サービスの順調な拡大、既存サービスの効率化によって前回(2019年2月14日)に修正・公表した予測を上回る収益結果となりました。

そのため、通期業績予想数値を修正いたしております。

詳細につきましては、本日(2019年5月15日)公表の「2019年6月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	938,736	1,143,164
売掛金	223,191	426,035
商品	217,742	291,861
貯蔵品	6,991	—
その他	85,042	99,911
流動資産合計	1,471,704	1,960,973
固定資産		
有形固定資産	132,402	145,665
無形固定資産		
のれん	14,000	91,555
その他	8,156	18,018
無形固定資産合計	22,156	109,574
投資その他の資産	202,822	218,956
固定資産合計	357,381	474,196
資産合計	1,829,085	2,435,170
負債の部		
流動負債		
買掛金	57,294	171,103
1年内返済予定の長期借入金	158,873	228,619
未払金	156,420	196,044
リース債務	7,046	11,949
未払法人税等	47,976	79,240
賞与引当金	—	18,194
受注損失引当金	13,490	8,644
その他	156,986	136,252
流動負債合計	598,087	850,049
固定負債		
長期借入金	228,711	386,329
リース債務	25,579	36,992
その他	—	4,851
固定負債合計	254,290	428,173
負債合計	852,377	1,278,223
純資産の部		
株主資本		
資本金	305,353	305,811
資本剰余金	284,993	285,451
利益剰余金	355,514	491,096
自己株式	△256	△256
株主資本合計	945,604	1,082,102
新株予約権	1,440	1,440
非支配株主持分	29,663	73,404
純資産合計	976,707	1,156,947
負債純資産合計	1,829,085	2,435,170

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)
売上高	4,455,098	5,999,935
売上原価	2,581,415	3,566,460
売上総利益	1,873,683	2,433,474
販売費及び一般管理費	1,846,811	2,147,840
営業利益	26,872	285,634
営業外収益		
為替差益	—	87
保険解約返戻金	1,311	—
自販機収入	589	817
その他	775	1,316
営業外収益合計	2,675	2,221
営業外費用		
支払利息	1,755	2,471
新株予約権発行費	10,149	—
為替差損	1,087	—
支払補償費	536	501
解約違約金	—	547
その他	137	599
営業外費用合計	13,667	4,118
経常利益	15,880	283,736
税金等調整前四半期純利益	15,880	283,736
法人税、住民税及び事業税	20,521	94,654
法人税等調整額	△10,392	9,759
法人税等合計	10,129	104,413
四半期純利益	5,751	179,323
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,448	43,741
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,697	135,581

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	5,751	179,323
四半期包括利益	5,751	179,323
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,697	135,581
非支配株主に係る四半期包括利益	10,448	43,741

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。